



- 1 勇壮な踊りで会場を沸かせた大東高鹿踊部
- 2 息の合った演奏・演技を披露した藤小マーチングバンド
- 3 藤中吹奏楽もレベルの高い演奏を披露
- 4 総勢110人の合唱団の歌声が花を添えた
- 5 900人余りが参加した式典
- 6 合併協議会委員の皆さんには感謝状が贈られた



## 一関市・藤沢町合併記念式典

「くいちのせき」の実現に、一層の努力をしたい」とあいさつしました。



## 中東北の拠点目指し、さらなる飛躍を誓う

一関市と藤沢町の合併を記念する「一関市・藤沢町合併記念式典」は11月20日、一関市総合体育館で開かれ、出席した関係者や市民ら約900人が、合併を祝い、さらなる飛躍を誓い合いました。

式典に先立ち、参加者全員で東日本大震災の犠牲者へ黙とう。オープニングでは、一関合唱連合会と藤沢コーラスの合唱団、約110人が「赤とんぼ」など3曲を歌って、式典に花を添えました。

式辞に立った勝部市長は「一関市と藤沢町は、地理的にも歴史的にも結びつきが強く、古くから住民相互の交流も活発に行われてきました。次代を担う子どもたちが誇りを持てる『まち』を目指して9月26日、新しい枠組みによるまちづくりの歩みを始めました。当市の行く手には、幾多の課題が待ち受けていますが、震災からの力強い復興と郷土の発展のために、最大の努力を積み重ねていきたい」と述べました。

菅原啓祐市議会議長が「広一関で市民の一体感を醸成し、誰もが魅力を感じ、快適に暮らせるまちづくりを進めて、後世に素晴らしい地域を残したい。市議会は、市民と一体となって、『人と人、地域と地域が結び合い、未来輝

式辞で中東北の拠点都市を目指す決意を述べる勝部市長

続いて、合併協議会委員を務めた両市長、副市長、副町長、議員、学識経験者14人に勝部市長から感謝状が贈られました。

黄川田徹総務副大臣、主演了参議院議員をはじめとする来賓から、合併を祝福し、今後の発展を期待する祝辞が寄せられました。

その後のアトラクションでは、県立大東高校鹿踊部、藤沢小学校マーチングバンドと藤沢中学校吹奏楽部が息のあった見事な演奏や演奏を繰り広げ、参加者から盛んな拍手が送られました。

最後に、出席者全員で市民歌を斉唱し、さらなる飛躍を誓いました。

## 連載 Steps to revive

# 復興への道程

## 放射線対策編 Measures against radiation crisis

## 市民の不安解消へ向けた新たな取り組みをスタート

福島第1原子力発電所の事故で放出された放射性物質による放射能汚染で、市は新たに簡易型放射線測定器250台、放射性物質を測定する機器を4台購入。これらの機器を活用し、市民の不安解消へ向けた新たな取り組みを始めました。

### 放射線測定器の無料貸し出しを開始

市はこのほど、行政区・自治会などに対し、簡易型放射線測定器を無料で貸し出すことにしました。身近な生活空間、通学路や地区内でよく子供たちが遊ぶ広場などの線量を市民自ら測定し、日常生活行動に役立ててもらおうものです。



対象は、行政区、自治会と市内に所在する

が空間線量の測定に使用している機器と同じもので、新たに250台購入しました。

貸し出しする測定器は、市

らい、市内の詳細な状況把握に役立てることにしています。貸し出しは、事前予約が必要で、行政区長・自治会長は電話予約した上で、貸し出し当日、申請書を記入し機器を受け取ります。

- 貸し出し窓口は▼本庁震災相談総合窓口(☎21-2111)
- ▼花泉支所地域振興課(☎22-2111)
  - ▼大東支所地域振興課(☎72-2111)
  - ▼千厩支所市民課(☎53-2111)
  - ▼東山支所市民課(☎47-2111)
  - ▼室根支所地域振興課(☎64-2111)
  - ▼川崎支所市民課(☎43-2111)
  - ▼藤沢支所市民課(☎33-2111)

### 学校給食の食材などを測定へ

福島第1原子力発電所の事故で放出された放射性物質がもたらす人体への影響、特に子供の健康に対する不安を少しでも和らげようと市は、学校給食に使用される地元食材と提供した給食のサンプリング測定を開始することにしました。



放射性物質を測定する機器4台を独自に購入。消費者庁から借りた1台と合わせ5台の機器を北部・南部農業技術センターなどに設置し、測定の準備を行っています。

測定の対象は、学校給食に使用される地元食材と、市内13カ所の給食調理施設で提供された給食(毎週1食)。機器の準備ができしだい12月中にも測定を開始することになっています。

食材の測定結果は、その食材を使用した給食が提供される前に、給食の測定結果は提供日の翌月にそれぞれ学校を通じて保護者お知らせするほか、市のホームページにも掲載します。

また、この測定機器は今後、清掃センターの焼却灰、産直で販売される野菜、井戸水などの測定にも活用することになっています。

